

会議名	平成 27 年度第 1 回港区 3 R 推進行動会議
開催日時	平成 27 年 4 月 15 日（水）午後 2 時から 4 時まで
開催場所	港区立エコプラザ 3 階会議室 B
委員	（出席者）鬼沢座長、森委員、中里委員、木原委員、櫻林委員、関根委員、山田委員、大駒委員、岩政委員、小沼委員、太田委員、上嶋氏（有賀委員代理）、福田氏（荒川委員代理） （欠席者）島村委員、浅山委員、
事務局	杉山、高島、藤野、秋元
傍聴者	なし
会議次第	区挨拶 鬼沢座長挨拶 委員挨拶（一言） 1. 意見交換① 一般向け段ボールコンポスト講習会の開催について 2. 意見交換② 「エコライフ・フェアMINATO2015」出展について 3. 意見交換③ 「第 10 回ふれ愛まつりだ、芝地区」の出展について 4. 意見交換④ 「みんなと 3 R」ホームページ閲覧状況と SNS 更新回数 5. 意見交換⑤ 平成 27 年度 3 R 推進事業の進め方について 6. その他
配布資料	[席上配布] 1. 「3 R 推進行動会議」設置要領 2. 平成 27 年度港区 3 R 推進行動会議委員名簿 3. 一般向け段ボールコンポスト講習会の企画概要（案） 4. 「エコライフ・フェアMINATO2015」出展概要（案） 5. 「第 10 回ふれ愛まつりだ、芝地区」出展概要（案） 6. 「みんなと 3 R」ホームページ閲覧状況と SNS 更新回数 7-1. 平成 27 年度 3 R 推進事業の進め方について 7-2. 平成 27 年度 3 R 推進事業スケジュール（予定） [参考資料] 1. みなとクリーンプラン 21（第 2 次）概要版～港区一般廃棄物処理基本計画～ 2. 平成 26 年度一般向け段ボールコンポスト講習会記録シート（参考） 3. 一般向け段ボールコンポスト講習会チラシ 4. 「エコライフ・フェアMINATO2014」チラシ（参考） 5. 「第 9 回ふれ愛まつりだ、芝地区」チラシ（参考）

	6. 「港区の清掃とリサイクル2015」、港区3R情報紙「みなくる」 vol.18 7. 港区3R推進行動計画
--	---

主な発言・報告内容

1. 港区挨拶

平成27年4月から座長、委員を含め7名のメンバー変更があった。本年度3月30日からごみ・資源の収集・回収曜日やルートの変更があり、まだ区民が慣れていない面もあるが、引き続き清掃活動を頑張っていきたい。また、今年度5月から古着の拠点回収施設の増加を行うため、区長がプレス発表を行う予定である。ごみの減量化のレベルアップを図るため、「家庭系ごみ量の見える化」を実施する。マンション等に出される家庭ごみを最初の4週間は普段通りに出して頂き、その後の4週間は水切りをして出して頂く。この取組により、可燃ごみの「見える化」と共に減量化を図りたい。前年度は3か所で行ったが、今年度は4か所で行う予定である。これらの取組を3R推進行動会議と共に進めていきたい。(みなとリサイクル清掃事務所 ごみ減量推進係長 福田)

2. 鬼沢座長挨拶

今年度より座長を務めることとなったので、宜しくお願ひしたい。区民、事業者及び区の3者で率直かつ積極的な意見交換をして、3R推進活動の実践に繋げていきたい。

3. 委員挨拶

各委員による挨拶

4. 意見交換① 一般向け段ボールコンポスト講習会の開催について

●事務局からの説明

ごみ減量の普及啓発のため、5月に一般向けの講習会を実施する。また、区民一人当たり一日67グラムのごみ削減、ごみから資源への移行43グラムという区の目標を達成するため、段ボールコンポストによる生ごみの削減効果が見える化し、継続的に生ごみを減量することを目的とする。

●主な発言

- ・前回何名くらい集まっていたのか。(委員)
→昨年度は7月26日に行ったが、15組16名の方が参加した。(事務局)
- ・参加者が定員の50名を超えることはないのか。(委員)
→50名を超えたことはないが、多く集客できるようにしたい。(事務局)
- ・段ボールコンポストをベランダ等で実施可能な地域を選び、その地域で集中的に講習会を周知するのが良いのではないか。講習会を開催する地域はデータ等を参考にして

選定するのが良い。(委員)

・コンポストの臭いが気になる人がいるのではないかと。コーヒー等が臭い消しになるかもしれないので、そういうこともPRした方が良い。(委員)

→実際にコンポストづくりを実施された人によると、臭いはほとんどないとのこと。また、気温が上がるとたい肥を作るにはより良い環境となる。(事務局)

・コンポストに菌を入れるのか。(委員)

→菌はコンポストキットに入っている。(事務局)

・臭いの問題などを最初に伝えたら良いのではないかと。(委員)

・自宅のどこで実施できるか、適した場所はどこか、実際に行った人が家のどこで実施したかなどを情報として伝えるべきである。(委員)

→大切なことなので、パワーポイント等で伝えるようにしたい。(事務局)

・たい肥をどう使うのかイメージできるようにすれば良いのではないかと。たい肥を作るだけでなく、使うイメージをできるようにした方が良い。(委員)

・たい肥を作った後をどうするのか悩んでいる人がいる。不用になったたい肥をどうするのか具体的、明確な策が区から提示されていないため、たい肥のたどり着くところがない。(委員)

・コンポスト講習会で作られたたい肥は、何を材料にしているのか分からないため、区で回収して使用することができない。不用になった園芸土のイベント回収は行っているが、段ボールコンポストで使用された基材、肥料は土ではないため回収できない。そのため、友人に分けるなどしていただくように周知している。これは、戸建てが少ない港区特有の問題である。(事務局)

・ベランダで段ボールを使用したたい肥づくりができるかは地域によるため、講習会を開催する地域を絞るべきである。港区には5地区あるので、地域の特色を活かした取組に繋がるのではないかと。(委員)

・定員が足りない場合は講習会を開催する地域を絞って参加者を募集するなども検討するが、まずは区の取組として広く広報していく。(座長)

5. 意見交換② 「エコライフ・フェアMINATO2015」出展について

●事務局からの説明

3R推進のため、みなとリサイクル清掃事務所と共催して家庭で不用になった古着・ふとん・廃食油・使用済み小型家電製品の資源回収を実施する。また、3Rの普及啓発のためブースでパネル展示やクイズ、リユースのポーズの人気投票等を行う。

今年のクイズは、来場者が各ブースを巡るクイズラリー形式である。ポーズの人気投票では、リユースの着ぐるみも登場し、子供が楽しめるイベントにする。

●主な発言

・イベント開催場所である公園には上り坂があるため、高齢の人がブースまで古着等

の資源を持って行くのが大変である。公園の門で待機し台車を利用して資源を回収するなどできないか。資源の回収だけを目的に来場する人もいるので、受付場所を考慮するべきである。(委員)

→前年度も同様の声があがったが、該当の道路幅は狭く、スペースも勝手に使えないこととなっているため台車を使用するのは難しい。今後の検討課題とさせて頂く。(事務局)

6. 意見交換③ 「第10回ふれ愛まつりだ、芝地区」の出展について

●事務局からの説明

より多くの人々にごみの減量、リサイクルの推進を普及啓発するため、今年度初めてブース出展をする。また、集客や区のリサイクル事業をPRするため、ブース出展の際に不用園芸土の回収を実施する。

段ボールコンポスト講習会のサポーターからの紹介により、今年度より出展する運びとなった。

●主な発言

・7月に開催される親子向け段ボールコンポスト講習会をPRする。(事務局)

・様々な団体が出展するので、分野問わずいろいろなお客様へ声掛けをして頂ければと思う。子供たちへアピールし、来年度以降も出展できるようになれば良い。(委員)

・園芸土の回収リサイクルはどのように行われているのか。(委員)

→土を回収し業者へ引き渡し、業者にて乾燥と消毒を行い、再び園芸土にする。園芸土に適さないものに関しては、建設資材などの土として使用される。(事務局)

・家庭で一度か二度使用した園芸土は捨てられてしまうことが多いが、段ボールコンポストでできたたい肥を追加して使用するなど園芸土を捨てないような使い方・仕組みを伝えられたら良い。(委員)

・不用園芸土の回収をする前に、家庭で使用した園芸土にたい肥を加えるなどして再び使えるようにするといった家庭でリユースするというワンステップあれば良い。園芸土をリユースできなければ、回収するという形になれば良い。(座長)

・使用した園芸土を段ボールコンポストに活用するなど、段ボールコンポストの取組の広がりを見せられたら良い。(座長)

7. 意見交換④ 「みんなと3R」ホームページ閲覧状況とSNS更新回数

●事務局からの説明

これまでTwitterやブログ等を通じてイベントの告知や開催報告を行ってきた。3Rの認知度向上のため、今年度は3Rに関する取組に親しみを持ってもらえるよう紹介する。

●主な発言

・工夫して多くの人にホームページを見て貰えるようにするべきである。SNSの更新件数が

少ない気がする。Twitterなどは気軽に更新できるはずである。ホームページ等を作成した以上は、情報を積極的に発信した方が良い。(委員)

- ・SNSの更新等は今年度の重点的な取り組みになるのではないかと。若い人に関心を持って貰えば、閲覧数も増えるのではないかと。(座長)
- ・ちいばずに設置されているモニターを広報の場所の一つとして考えるのはどうか。(委員)
→検討する。(事務局)
- ・小さなニュースや面白いトピックスをホームページ等に載せたら良いのではないかと。例えば、1か月に10回以上ホームページを更新すれば、今年度の1か月のホームページ閲覧数が1000名を越せるのではないかと。(委員)
- ・目標とする閲覧数などの具体的な数字を用いて、ホームページやSNSの更新に取り組んでいけたら良い。(事務局)

8. 意見交換⑤ 平成27年度3R推進事業の進め方について

●事務局からの説明

前年度を振り返り、段ボールコンポスト講習会等の担い手の育成、学生ボランティアとの連携、ホームページ訪問者数の増加、イベントへの協力団体の増加が成果としてあげられる。

一方で、前年度の活動から継続的な3R活動、中小企業に即した情報発信、3Rサポーター制度の充実、段ボールコンポスト講習会の講師・サポーターの育成、区民と事業者の連携が課題としてあげられる。

これらの課題を踏まえ、今年度は情報共有の場づくり、企業向け講習会の活性化、3Rサポーターの育成の3点を重点的に取り組みたい。

●主な発言

- ・もっと気軽にFacebookの「いいね」やイベント情報などのシェアができるような構造が必要である。(委員)
- ・固いイメージのある区民だよりを通じてではなく、FacebookやTwitterを介して、上手く若い世代に情報を拡散できるようにしたい。(委員)
- ・エコプラザのホームページに「みんなと3R」のリンクを貼って貰う、エコプラザで掲示しているポスターにイベントを紹介して貰うなどエコプラザで開催しているイベントと連携できないか。(委員)
- ・港区には外国籍の住民が多く住み、彼らにごみの分別を理解して頂くのは難しいが、3Rの底上げには必要なことである。(委員)
- ・エコライフ・フェアのチラシを英語で作成するなどして、3Rについて知っていただくことも大切である。(委員)
- ・ごみの分別について英語で説明するのはどうか。(委員)

→掲示物を英語で作成することはできるかもしれない。(事務局)

・港区では絵やイラストを用いて、ごみの分別について分かり易く伝えており評価できる。
(委員)

・ごみの分別については、現在多言語に対応できるよう取り組んでおり、港区に引っ越してきた人に渡すウェルカムパッケージの一つとして入れる方向で対応中である。

(事務局)

・3Rの状況やごみを分別する意義も併せて、外国籍の住民へ伝えるといった啓発にも力を入れるべきである。街の人を取材するなど興味を持って貰えるようにする。SNSなどを介した情報の発信回数を増やせば、ごみの分別に対する意識が変わるのではないかと。

(委員)

・海外の人はごみの分別が苦手なことが多い。一方で、日本がクリーンであることについて尊敬をしている人は多いので、クリーンにするには何が必要なのかを説明できるようにすると良い。なぜを解決するヒントを提示できるようにする。(委員)

・港区にある大使館など既存のチャンネルを活用して、広報をするのはどうか。(委員)

→3月に港区大使館実務者連携会議で10月のパネル展示会について説明をした。(事務局)

・区民の中で、本活動の認知度は低い。パッと思い浮かぶキャッチフレーズを作成する、キャラクターと併せてPRするなどして、分かるようにしたい。3R推進行動会議と言われても、固いイメージがある。(委員)

・「資料7-2. 平成27年度3R推進事業スケジュール(予定)」は変更する可能性がある。(事務局)

9 その他

●次回会議に関して

第1回3R企画会議は6月3日(水)10時から12時まで、港区立エコプラザ会議室Aで行うことを予定している。(事務局)